



今月の『一読あれ』

あなたの愛はどんな形?~バレンタイン&ホワイトデーに考える

寒いなかにも少しずつ春のきざしが見えてくる季節になってきました。そして、2月・3月といえば、バレンタインデーとホワイトデー。誰かにプレゼントを用意する人もいないのでしょうか。今回はずばり「愛」をテーマにしました。愛を語る切り口も、本によってさまざまです。あなたにぴったりの本が見つかりますように。

『赤い実たちのラブソング』 名木田恵子著 913.6/N26 2F和図書B
国語の教科書にも載っていた「赤い実はじけた」の続編。30歳になった主人公たちが中学時代を思い出しながら、それぞれの人生について書かれています。

『愛するということ』 エーリッヒ・フロム著 158/F48 2F和図書A
「愛は技術である」と言う著者。愛の技術の理論と、その習練について、とても客観的な目線で書かれています。スイートな内容ではないので注意ですが、愛とは何かを知りたい人におすすめの本です。

『男子のための恋愛検定』 伏見憲明著 152.1/F96 2F和図書A
「恋」はすばらしいものであるが、実は「恋」は取り扱い要注意の危険物なのだ！それを回避する知識をこの本を読んで勉強してはいかがでしょうか。

『High and dry (はつ恋)』 よしもとばなな著 913.6/Y91 2F和図書B
14歳の夕子が初めて恋をした相手は20代後半の絵の先生。仲良くなっていくふたりに起きた小さな奇跡とは……。純粋で美しい初恋の話、心が温まります。

『エコ恋愛(ラブ)婚の時代』 牛窪恵著 367.4/U93 2F小型本
“エコ恋愛族”の増加は何を意味するのか。現代における男らしさ女らしさ結婚の新しい形など様々な角度から迫り、これからの男女のあり方、結婚ってなんだろうと考えさせられます。

『恋する文豪』 柴門ふみ著 910.26/Sa21 2F和図書B
武者小路実篤、太宰治、村上春樹など、名だたる文豪小説に出てくる恋をわかりやすくひもといていくこの本。現代的な解釈に、思わずうなずけます。

『恋愛の格差』 村上龍著 914.6/Mu43 2F和図書B
普通のエッセイかと思いきや、経済、時事問題へと話は縦横無尽に駆けぬけ、いつの間にか恋愛に帰着し鋭く言及。読んでいると頭がやわらかくなります。

『恋しくて』 村上春樹編訳 908.3/Mu43 2F和図書B
ひと筋縄ではいかない9つのラブストーリーと、書き下ろしの短編が1つ。話の終わりには、「恋愛甘苦度」が★でランクされています。甘い話と苦い話、好きなものからどうぞ。

**3F中央ホールで展示中！
貸出できます**

